

イトヨ便り

【発行】大槌町地域支援員配置事業
〒028-1115 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-6
TEL: 0193-41-2780
E-Mail: otsch.info@gmail.com



大槌小槌神社

祭り！心一つに

大槌魂が奮った！活気ある2日間に

大槌町の一大イベントといえ
ば「大槌祭り」。
今年も、大槌稲荷神社祭典が
なく残念な気持ちになられた方
も多かったです。ですが、
小槌神社祭典ではその分踊りに
も力が入り、踊っている方も見
ている方も盛大に盛り上がりま

(左)小槌神社を出発した神輿渡御 (右上)向川原虎舞の御社地での奉納舞 (右中央)松の下大神楽の御社地での奉納舞 (右下)神社前で踊る白澤獅子踊

あの人に インタビュー

代々続く伝統芸能 自分の代で終らせない！

雁舞道七福神会 会長
渡邊裕人 (わたなべひろひと) さん



平成19年に3000万くらいで新しく作った山車、帳簿とかの書類も津波で流されました。山車の補助金の申請が通らず、リアカーを飾って祭りに出ました。その後別の補助金の話があつて、通

した。
22日は小槌神社の宵宮祭奉納舞、23日は神輿渡御があり、今年も恵まれた大槌祭りとなりました。
23日、朝から太鼓や笛の音が響き渡り、町内は活気に溢れていました。神輿渡御が始まり、各団体からエネルギーが伝わってくるような踊りや掛け声。祭りに出ていた方にお話を聞くと「たくさん練習しました。心一つにして踊りたい」と。力強い踊りからも伝わってきました。

雁舞道(安渡1丁目)地区の伝統芸能である「雁舞道七福神」。震災で地区は壊滅状態になり、メンバーや家、山車を失いました。それでも七福神への熱い想いとみんなの協力です。3年連続でどうにか祭りに参加することが出来ました。いつか完全復活できるように願って現在も活動しています。
今回、「雁舞道七福神会」の会長である渡邊裕人さんにお話を伺いました。
Q 震災後、活動再開のきっかけとなったのは?
最初は虎とか活動していても出来たらいいとは思ってたけど、その時はどうやって生きてくがって

今年はいつもと違う順路で練り歩き、初めて練り歩く場所付近の住民さんは、家の前で見る事ができ喜んでいました。いつもは静かな町内の夜もこの日は門打ちの音が響き渡り、今年の大槌祭りは幕を閉じました。
来年は、復興工事等の関係でどのようになるかわかりませんが、次回の大槌祭りを楽しみに、そして一日を大切に過ごしていきたいものです。



浪板地区

が やすのり
芳賀康宣さん

(68)

盆栽に愛情を込めて♪

康宣さんの家の玄関前には、「つりしのぶ」や「イワオモダカ」などいろいろな種類の盆栽がたくさんあります。写真で持っている盆栽は、鉢も手作り！毎日欠かさず水やりなどのお手入れをしているそうです。

思いやりと愛情を注いでいるからこそ素敵な盆栽になるんですね♪



Q 大槌町がどんな町になってほしいですか?
今たくさんの人が離れているから、大槌にいたいな、やっぱり大槌がいいなって思える町になってほしい。あと、人が寄ってきて、大槌に住みたいなの思ってもらえるような町になってほしいですね。

Q 嬉しかったことは?
また「七福神」が出来たっていうことが本当に嬉しかった。震災でもうしばらく出来ないと思ってたから。その時1回途切れると次やるときがゆるぎないが、自分の代で終わらせてはだめだと思って自分だけじゃなくて皆の協力があつたらなんとかなりました。
Q 大槌町がどんな町になってほしいですか?
今たくさんの人が離れているから、大槌にいたいな、やっぱり大槌がいいなって思える町になってほしい。あと、人が寄ってきて、大槌に住みたいなの思ってもらえるような町になってほしいですね。